

松山市議会 副議長選挙に係る所信表明会会議録

[開催日時]

令和7年7月4日（金曜日）午後4時22分開会
午後4時30分閉会

[開催場所]

議 場

[所信表明者]

1. 小 崎 愛 子 議員（日本共産党議員団）
2. 長 野 昌 子 議員（公明党議員団）

※所信表明申出書届出順

○白方 仁事務局長 ただいまから副議長選挙に係る所信表明会を開催します。

失礼して着座にて進行させていただきます。

お手元配付の所信の概要のとおり、小崎議員及び長野議員から所信表明の申出がありました。

表明する順番につきましては、届出順により、小崎議員、長野議員の順でお願いいたします。

この際、申し上げます。

申合せにより、所信表明に対しては、何人も拍手、その他の方法により賛意を表し、またはやじ、その他の方法により反意を表してはならないことになっておりますので、御注意を願います。

それではまず、小崎議員、所信表明をお願いいたします。

〔小崎愛子議員登壇〕

○小崎愛子議員 今回副議長選挙に立候補をしました小崎愛子です。

こうして所信を表明する場をいただいたことに感謝を申し上げます。

率直に申し上げますと、2人会派として副議長に手を上げることは異例です。しかし、この間、いろいろと感じてきたことや様々なお声も踏まえ、立候補を決断しました。

それでは、所信を表明させていただきます。

今、引き続き人口減少や担い手不足、物価高などの諸課題や今後のトランプ関税による不安や影響も含め、暮らしや地域経済を守る手だての具体化が市民から求められています。私は、議長を補佐し、公平・公正な議会運営に努めつつ、市民の福祉の向上と市政の発展に資する議会機能の強化に尽力いたします。特に議会議論の活性化、市民への発信、市民意思の聴取に努力し、その上で以下の点を提案します。

1つは、議会の在り方、運営について、改善・見直しが必要という点です。

私自身、市議会議員として16年目に入り、いろいろな議会の側面に触れてきましたが、会派主義の意識も強く、少数会派、無会派の方の意見が反映されにくいと感じてきました。会派であれば代表者会議や議会運営委員会に参加できますが、無会派では発言権がなく、広聴の位置づけです。そんな状況で様々なことが決まる現在の在り方は、やはり見直しが必要と感じています。同じ選挙で選ばれた43人、一人一人の発言が、議会運営の中できちんと反映される仕組みが必要です。一緒に参加し、議論できる場、合意形成していく場が大切だと思います。お互いの意見を知り、議論することが、現在の市議会の下でとても重要なことだと考えています。

もう一つは、開かれた議会への取組をさらに前進させたいという点です。

住民に開かれた議会の取組は、確実に前へ進んできていると思います。今後、全ての委員会のライブ配信も含め、開かれた議会の取組をさらに進めるために力を尽くしたいと思います。

最後に、政治分野における男女共同参画を進めるとともに、議会における育児支援の取組など、環境整備に積極的に取り組んでいきます。政治倫理やハラスメント防止に関する条例の制定や研修会の定期的な実施を開催して、健全な議会活動の確保に努めたいと思います。

2022年の改選期に松山市議会は、女性議員が12名になり、議員数に占める割合は28%になり、四国の中でも女性議員が多い市議会になりました。具体的には、2023年9月には、女性差別撤廃条約の選択議定書の批准を進める意見書では、多くなった女性議員が勉強会を進め、女性議員一同が起草し、各会派に理解を求める努力をし、全会一致で採択されたことなどは大きな取組でした。

また、2024年5月には、あらゆるハラスメントをなくし、誰もが働きやすい職場づくりを求める申入れを女性議員一同で行ってきました。これらを通じて、思想や信条の枠を超えた超党派の取組をしてきましたが、さらにこのことを発展させていきたいと考えています。

松山市議会の民主主義を守り、発展させること、開かれた松山市議会をつくっていくことを、住民参加をさらに進めていく松山市議会にするために力を尽くすことを述べて、副議長立候補に当たっての私の所信表明といたします。御清聴ありがとうございました。

○白方 仁事務局長 以上で、小崎議員の所信表明は終わりました。

次に、長野議員、所信表明をお願いいたします。

〔長野昌子議員登壇〕

○**長野昌子議員** 公明党議員団の長野昌子でございます。

副議長選挙に先立ちまして所信の一端を述べさせていただきます。

私は、市民の皆様信頼される開かれた議会を目指して、副議長としてその一翼を担ってまいりたいと考えております。

副議長の役割は、議長を補佐し、公平で円滑な議会運営を支えることにあります。しかし、それだけではなく、市民とのつながりを大切にし、小さな声にも耳を傾ける橋渡し役を果たすべきだと考えています。いまだ続く物価高騰は、市民生活や企業活動に大きな影響を与えています。こうした状況だからこそ、議会が果たすべきは、不安を和らげ、誰一人取り残さない社会を目指すことだと思います。そのためには市民の皆様が議会に関心を持ち、自由に意見を届けられる環境づくりが必要です。出前議会や意見交換会の充実、若者との対話の場づくりなどに積極的に取り組んでまいります。議員各位の御賛同と御支持を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

○**白方 仁事務局長** 以上で、長野議員の所信表明は終わりました。

以上で、副議長選挙に係る所信表明会を終了いたします。

— 午後 4 時 30 分閉会 —